

和歌山 人・もの・地域

和

n a g o m i

Vol.17  
2012

特集

# わが勝利の かやまの やま。聖地



FIGHT! WAKAYAMA!!  
PRAY FOR ALL!!

知事対談 川淵三郎×仁坂吉伸

サウンドエッセイ [那智川橋梁]

地産地消のわかやまカフェ(カフェ・ド・マンマ)

MADE in WAKAYAMA

プレミアム和歌山 グリーンソフト

熊野本宮大社の八咫鳥おみくじと勝守

熊野三山の神鳥である三本足のカラス、八咫鳥(ヤタガラス)は神武天皇に勝利をもたらした導きの神。日本サッカー協会のシンボルマークにも使われている。今年はオリンピックイヤー。日本には是非勝利をもたらしてもらいたい。



# 勝利の聖地 わかやま。

フィールドにみなぎるパワー。  
見るものを圧倒する躍動感。  
多くの期待を受けて  
さらに力強くなるアスリートたち、  
その姿は誇らしげで美しい。

穏やかな陽光差す大地。  
聖地へと続く巡礼の道。  
遙か昔から甦りの国、熊野は、  
多くの人々の願いを受け入れてきた。  
期待と願いのその先には  
情熱を燃やす戦士たちがいる。

FIGHT! WAKAYAMA!!  
PRAY FOR ALL!!



## Jリーグを目指して! アルテリーヴォ和歌山



2007年発足、和歌山初のJリーグを目指す。「アルテリーヴォ」はイタリア語の「ARTE(芸術)」と「ARRIVO(到達)」を合わせた造語でエンブレムは八咫鳥をイメージ。県リーグからスタートし着実にステップアップ。今シーズンは関西サッカーリーグ1部にその舞台を移し更なる飛躍を期す。子どもサッカー教室やボランティア活動など地域との触れ合いにも積極的。





# ロンドンに舞う、 和歌山の妖精

©Rimako TAKEUCHI

身長156センチは女子体操選手としては大柄だが、その分演技が伸びやかに優雅に見える。またローティーンの選手が多い中、24歳という年齢で活躍するその姿は後進に好影響を与える存在としても期待されている。



©Rimako TAKEUCHI

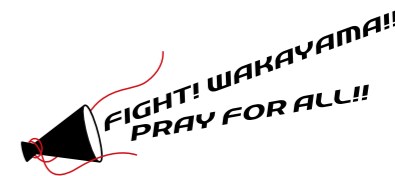


普段から仲がよく、子どもの頃から喧嘩したことがないという。願掛けで会場には来ない母のためにも、「テレビに写るようないい成績を残さなきゃ」とガッツポーズの和仁(左)、理恵(中)、祐典(右)の3選手



©Rimako TAKEUCHI

2010年、第42回世界体操競技選手権大会において、個人総合に参加した選手の中でもっともエレガンスな選手に与えられるロンジン・エレガンス賞を受賞し世界中から注目を集めた。



## 笑顔の奥にある 確固たる決意とゆるぎない愛

しなやかに伸びた肢体。躍動感あふれる跳躍。ダイナミックな演技。誰もを魅了する笑顔。日本女子としては初めてのロンジン・エレガンス賞を受賞し、世界から最も注目を集める女子体操オリンピック候補、田中理恵選手だ。

理恵選手が体操を始めたのは6歳の頃。元体操選手である父が教える和歌山オレンジ体操クラブに所属する兄の和仁選手に憧れてのことだった。幼かった弟の祐典選手も兄のスピード感溢れる演技を見ているうちに体操を始めていた。「そんな体操一家を支えたのは母でした。放課後になるとすぐ母の車に乗

り、練習場所の和歌山北高校の体育館に行きます。その車中で食べた母のお弁当が、私と兄弟の一番の思い出です」と語る理恵選手も高校時代はスランプに陥った。気持ちと身体のコントロールが上手くいかない。活躍する兄弟に取り残されているような気持ちにもなったという。「それでも両親は練習から離れると一切、体操の話をしませんでした。そして家では一緒に遊んでくれる優しい父に戻ります。ところがいつの間にかトレーニングになっていくんです(笑)。我が家では初詣が走り初め。兄弟と近くの山にランニング、そこから毎年、初日の出を眺

### 和歌山オレンジ体操クラブ

昭和51年に設立された田中和仁・理恵・祐典選手の父、田中章二が指導する体操教室。平成20年には文部科学大臣表彰を受賞した名門クラブ。現在も県立和歌山北高校の体操部と一緒に練習を重ねている。



教員になった後も32歳まで体操競技を続けた。全日本インカレや国体、全日本選手権にも出場した経歴を持つ。



# 球界の記録は 故郷の記憶

和歌山県は「野球王国」で知られる。  
「和歌山を制するものは全国を制す」といわれた。  
戦前から強豪校が道を切りひらき、  
野球にかけた情熱は全県下に浸透している。  
多彩な野球人を輩出してきた紀州の野球を振り返ってみた。  
スポーツニッポン新聞社 編集委員 内田 雅也

昨年プロ野球日本シリーズでMVPに輝いた小久保紀選手は和歌山市出身。星林高卒業後、青山学院大、福岡ダイエーホークス、読売ジャイアンツを経て、2007年に福岡ソフトバンクホークスに復帰。当時を懐かしむように母校のユニフォームを眺める(わかやまスポーツ伝承館にて)。

## 王国の(な)しもの

西本幸雄は母校・和歌山中(現桐蔭高)グラウンドに立ち、「ああ」と声を漏らした。「何も変わつたらんなあ。バックネット裏から右翼にかけて建つコンクリート製のスタンド観覧席を見渡し、懐かしんだ。2008年11月30日の朝だった。和歌山市のライバル、海草中(現向陽高・嶋清一(戦死)の野球殿堂入りを祝う会が和歌山市内であり、故郷を訪れていた。昨年11月25日、91歳で永眠した西本にとって最後の帰郷だった。「和中有ったからこそ、今の自分がある。和中の野球部に入ったことが大きな転機だった」

西本の和歌山中入学は1933年(昭和8)。だが、野球部には入らなかつた。「偉大な和歌山野球部に対し、ある種畏怖の念を抱き、尻込みしていた。特待生もおり、野球部は別格の存在感があった。後に大毎(阪急、近鉄)の監督として8度のリーグ優勝を果たし、闘将と呼ばれた西本でさえ、

え、畏れていたわけである。

和中は滅法強かった。夏の全国大会は1915年(大4)の第1回大会から14年連続出場。好投手・北島好次を擁した21年、井口新次郎らが猛打をふるった22年と連覇を達成。春の選抜も左腕・小川正太郎を擁し、1927年(昭2)に優勝を果たしていた。

西本は3年進級時に創部されたラグビー部に入った。ところが4年生の7月末、和歌山大会で敗れた野球部は5年生7人が抜けると部員がわずか5人。名門存亡の危機に学校・後援会は部員集めに動き、西本も勧誘を受け、転部したのだった。

5年生の夏は和歌山大会決勝で嶋清一の海草中に3-4で敗れた。甲子園出場はかなわず、西本の和歌山での野球生活は1年足らずで終わっている。それでも「和歌山で野球をやれたこと、後々の野球人生で大きな自信となった」。90歳を超えてなお和歌山の校歌はもちろん、数曲あった野球部応援歌をすべて諳んじ、歌って聞かされた時には驚いた。

こうして「野球王国」は和歌山が牽引していた。『和歌山中・桐蔭高野球部百年史』によると、和歌山に野球が伝わったのは1897年(明30)9月。和歌山に赴任した青年教師がボールとバットを用意し、和歌山城・砂の丸コートで指導を始めた。1913年(大2)4月には「野球校長」と呼ばれた野村浩一が赴任。「うらなり青瓢箪に日本の将来を背負えるか」と運動を奨励し、「野球での訓育が最良」と支援した。1914年(大3)には早慶OBを

# 野球王国わかやま



2008年11月30日、母校・和歌山中(現桐蔭高)グラウンドを訪れた西本幸雄氏(左)最後の帰郷となった。撮影：内田雅也



母校グラウンドで投球練習する海草中の嶋清一投手。古角俊郎氏所蔵



コーチに引き、猛練習で力をつけていた。27年選抜優勝で米国遠征に出た際も留守部隊の2軍が予選を勝ち抜き甲子園出場。あまりの強さに「県予選初戦で和中に負けたチームは敗者復活」との特別規定まであった。球史は伝説に彩られている。

そんな和中を初めて止めたのが海草中だった。29年選抜に初出場。夏も和中の連続出場を止め初出場、いきなり準優勝を果たした。和歌山商(県和歌山商)、海南中(現海南南高)を加えた4強時代を迎え、33年選抜は4校そろって出場を果たした。

「天魔鬼神の快投」と称えた。明治大に進み、学徒出陣。24歳にして南海に沈んだ。同年は三塁手、翌40年は優勝投手となった真田重蔵(重男)は朝日(後の太陽、松竹)でプロ入り。50年には今もセ・リーグ記録の39勝をあげ、阪神時代を含め2度のノーヒットノーランを達成している。引退後は明星(大阪)監督として夏の甲子園で全国制覇。優勝投手が優勝監督となった第1号として知られる。

## 尾藤スマイル

戦後台頭したのが新宮だった。海草中初優勝時の1番セクター、古角俊郎が48年監督に就任。50年夏に甲子園初出場し、以後6年間で6度の出場を果たした。なかでも左腕・前岡(現姓井崎)勤也は54年春夏、55年夏と3度出場し、全国的な注目を浴びた。三重県亀山市出身で前岡家の養子となり野球留学した。激しいプロの争奪戦の末、阪神に入団。破格の契約金は当時700万円と伝えられたが、実際はその2倍。実家のたんす引き出しすべてが千円札(まだ1万円札はなかった)で埋まっていたと聞いた。

65年選抜で準優勝した市和歌山商(現市和歌山)の藤田平は大会初の1試合2本塁打をマーク。その打撃を野球記者・松尾俊治は「天才的」と称し、大リーグの強打者ヨギ・ベラ、スタン・ミュージアルにたとえた。阪神入りし、78年には



市和歌山商時代からの「天才的」な打撃で、阪神生え抜き唯一の2000安打を達成した藤田平



1970年選抜で優勝投手となった箕島・島本講平。アイドル的な人気を呼んだ

リーで春夏連覇を達成する。春の準決勝PL学園戦は9回2死から追いつき、延長10回サヨナラ。浪商(現大体大浪商)との決勝は2度の逆転で乱打戦を制した。夏には伝説の名勝負となった星稜との延長18回の激闘があった。延長で2度のビハインドを2死からの本塁打で追いつく粘りは驚異的で、阿久悠はスポーツニッポン新聞に書いた『甲子園の詩』で「最高試合」と称えた。

智弁和歌山は85年春、夏は87年に甲子園初出場。以後春夏とも優勝、準優勝各3回と圧倒的な戦績を誇る。率いる監督・高嶋仁は甲子園通算で歴代最多の63勝



近鉄監督時代も情熱あふれる指導を行った西本幸雄

「漁師の判断力、みかん農家の忍耐力、商人の融合力が一つになつている」と語っていた。気候、風土、産業など県民性から、広く和歌山野球の強さを示す言葉として聞ける。また、大リーグで



1979年夏の甲子園大会決勝。最後の打者を三振にとり、パンクイする石井毅-嶋田宗彦の箕島バッテリー

(智弁和歌山では56勝)を記している。2000安打にあと38本と迫るソフトバンクの主将・小久保裕紀は星林時代、甲子園出場経験がない。ただ、現役プロによるシンポジウム「夢の向こうに」(09年12月19日、和歌山県民文化会館)で「皆さんが想像する以上の努力をしていた」と、夜のランニング中に電話ボックスで倒れた逸話を披露し、高校球児たちを驚かせた。

## 和歌山野球の強さ

昨年3月6日、鬼籍に入った尾藤は生前、地元選手を集めた箕島野球について

# 野球王国わかやま



1979年、公立校では史上唯一の春夏連覇を達成。選手に肩上げられる箕島・尾藤公監督

208打席無三振の新記録(当時)。83年には生え抜きの阪神打者では今も唯一の2000安打を達成した。

同年夏の和歌山大会で市和商を破ったのが南部で、上田二郎(次朗)が好救援で反撃をしのいだ。東海大エースとして大選手権優勝。ドラフト1位で阪神入りし、藤田と同僚となった。73年の22勝が光る。

箕島が甲子園に初出場した68年選抜のエース・4番が東尾修。高校進学時、既に平安(現龍谷大平安)入学が決まり、京都

活躍した吉井理人(箕島)、敷恵壹(新宮)はともに幼いころから、目の前に広がる太平洋に思いをはせ、「あの海の向こうには何かがある」と夢を育んだと聞いた。神門晴之は『ふるりの野球』で和歌山人の(開明気質)を指摘している。例えば、情熱的指導で知られた西本も科学的練習をいち早く採り入れるなど、進取の精神に富んでいた。

西本は言う。「オレは選手たちに語りかけた。野球ができる期間は人生の中で短い。この青春時代を良きものにしようじゃないか」。言葉は「愛」や「青春」を好んで使うなど、ロマンに満ちていた。そしてもう一つ、和歌山を愛していた。宝塚市で長く過ごした西本だが「テレビの天気予報はついでに和歌山を見てしまつている」と話してい

## 甲子園大会は和歌山から

「春はセンバツから」と球春到来を告げる選抜高校野球大会(甲子園)は和歌山が興した。主催の毎日新聞社が50回大会記念に発行した『青春の軌跡』に「センバツは和歌山から」と大会発祥の逸話が記されている。

夏の全国中等学校優勝野球大会(今の全国高校野球選手権大会)は1915年(大正4)に始まり、甲子園球場が連日満員になるなど、野球人気が沸騰。大会新設を望む声が高まっていた。なかでも和歌山中(現桐蔭高)が1921、22年と連覇するなど野球熱が高かった和歌山で構想は練られた。「全国から最強チームを選抜

の下宿先にふとんまで送っていた東尾を、弱冠23歳、監督就任直前の尾藤公がみかん畑に誘い、「有田から一緒に甲子園へ行こうや」と口説いた。2010年12月、和歌山市であった東尾の野球殿堂入り祝賀会では、癌で闘病中の尾藤が病床で吹き込んだ祝福の声 flowed. 「オサ、殿堂やなんて、すごいなあ。みかん畑での会話を思い出すなあ」。列席した長女東尾理子(「プロゴルファー」も娘婿・石田純二(俳優)も涙にくれた。

70年選抜には左腕・島本講平を擁して優勝。「コーちゃん」と呼ばれ、女学生にアイドル的人気があり、南海1年目、オールスターにファン投票で選ばれた。77年選抜も左腕・東裕司の好投で優勝。そして79年には石井毅―嶋田宗彦のバッテリー



箕島を甲子園初出場に導き、プロでは通算251勝。野球殿堂入りも果たした東尾修

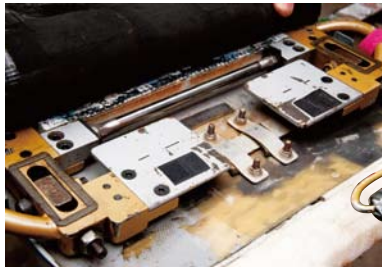


た。古里への愛情や郷愁もまた和歌山野球を支える力だった。|| 敬称略 ||



# 和歌山の優れた技術が日本の成績を支える

石のように固い雪上を時速120キロ超で滑走する五輪競技スケルトン。僅かなミスや異常が事故につながりかねないそのソリを製作しているのが和歌山市の金属加工工場「ニギテック」だ。日本スケルトン界の先駆者で五輪3大会連続出場の大和宏選手が使うソリは当初外国製だったが、世界トップクラスに成長したことで販売を敬遠され、仁儀社長に製作依頼が舞い込んだ。世界を知る男の頼りがいだ。世界を知る男の頼りがいだ。



(有)ニギテック

住所/和歌山市和歌町13  
電話/073-422-4993



様々な部品が組み合わさり、まるでパソコン内部のようだ。状況に応じて選手自らが細かい調整を行うことができる。

選手の身体にピッタリ沿うようにカスタマイズされたソリ。



## 飽くなき情熱 和歌山から世界へ



阪本直也  
Sakamoto Naoya

スプリント カヤックシングル200m

カヌーでメダルに挑戦！  
和歌山期待の阪本選手。

日本中のアスリートが集まる、和歌山ナショナルトレセン。



ナショナルトレーニングセンター

住所/和歌山市毛見1514  
和歌山マリナーシティ内  
電話/073-448-0251

正式には(NTC=)ナショナルトレーニングセンター 競技別強化拠点(セーリング競技)。風を受け海上を走る全競技対象で国内唯一の施設。

和歌山市の和歌山マリナーシティ周辺は温暖な気候で日照時間も長く、一年を通して安定した風が吹く国内有数のセーリング好適地。きれいな海にテマパーク、ホテル、温泉などを備える関西屈指のリゾート地でもある。そこに文部科学省指定で国内唯一のセーリング競技のNTCがある。国内トップ選手が集まる強化合宿やジュニアの発掘育成だけでなく、競技艇の開発や改良、自然環境の調査などのために大学研究機関や企業など日本中の英知が結集、セーリングに関するすべてを収集提供している。国際大会も開かれるその海は世界につながっている。

ロンドン五輪、カヌー・スプリントの日本初代表に選ばれた阪本直也選手は和歌山県田辺市出身の23歳。昨年イランで開かれたアジア予選で3位入賞し、その栄冠をつかんだ。カヌーを始め、たきつけは友人と共に入部した高校のクラブ活動。練習は主に市内の文里湾だったという。

片膝立ちの姿勢は重心が高くなるためバランスをとるのが難しく、転覆のリスクが大きい反面、体を大きく使えば力強く漕ぐことができ、ダイナミックだ。「次の五輪をも視野に入れ、ロンドンでは決勝まで進み、世界のトップクラスの仲間入りを果たしたい」と力強く抱負を語る。



# 日本サッカー協会のシンボルは 熊野の神鳥「ヤタガラス」？

日本サッカー協会のシンボルマークに描かれている、ボールに足をかける三本足のカラス。中国の伝承によると、三本足のカラスは日の神（太陽）の象徴といわれ、日本においては「太陽の化身（ヤタガラス）」と呼ばれる三本

# サッカーと 和歌山の 意外な関係

足のカラスとされている。熊野三山（熊野本宮大社・熊野那智大社・熊野速玉大社）ではそんな八咫鳥を「神々の使い」とし、信仰の対象となっている。

八咫鳥とシンボルマークとの関連性は明確ではないが、近代サッカーの普及に貢献した那智勝浦町出身の「中村覚之助」に敬意を表し図案化されたともいわれている。



「熊野那智大社（那智勝浦町）」境内にある八咫鳥。太陽を見つめる精悍な面差しは日本サッカーを勝利へと導く。



熊野三山でのW杯必勝祈願の旗



1904（明治37）年2月6日、日本初の外国人チームとの対外試合の記念写真。

# 日本サッカーの始祖 中村覚之助

日本に初めてサッカーが紹介されたのは1873年。イギリス海軍将校たちが日本の海軍軍人に、訓練の余暇として伝えたのが最初だといわれている。その後の1878年、熊野三山のひとつ熊野那智大社が鎮座する現在の那智勝浦町に、日本サッカーの礎を築いたといわれる中村覚之助が生まれる。

覚之助は当時の東京高等師範学校（現筑波大学）に進学、在籍中の1902年に「アッソシエーション・フットボール」という英語の本を翻訳し、同校の「ア式蹴球部」の創設に尽力した。そして、そのア式蹴球部が横浜で外国人チームと試合を行う。これが日本で最初の対外試合といわれている。

この試合の様子が新聞で報道され、全国が

らサッカー指導の依頼が殺到、蹴球部員たちが各地で指導したという。卒業した覚之助は中国に渡り教鞭を取っていたが29歳という若さで急逝。しかし、その名は日本サッカーの始祖として今も人々の記憶に刻まれている。

JR那智駅前にある顕彰碑。







2011年女子W杯ドイツ大会の金メダルと澤選手が着ていた代表ユニフォーム。(わかやまスポーツ伝承館で撮影)

スポーツを通して見つめる子どもたちの夢。スポーツを楽しむことで人生を豊かに。三日坊主でもいいと言う川淵キャプテンの信念とは。

# 夢を持とう！ 三日坊主でも いいから。

**ワールドカップも  
梅パワーで優勝？**

**仁坂知事(以下仁坂)** ●去年は日本サッカー界にとって大きな飛躍の年でした。男子の日本代表はアジア杯で劇的な優勝、なでしこジャパンはあのW杯で優勝し、ロンドン五輪のアジア予選も突破しました。

**川淵三郎氏(以下川淵)** ●ありがとうございます。なでしこジャパンは本当に快挙でした。そしてその後のロンドン五輪アジア予選も1位通過。アジアのレベルは高く予選突破は簡単ではなかったですが、W杯優勝が彼女たちの自信になり、勝ち切ることができたんだと思います。

**仁坂** ●先月にはそんななでしこジャパンを含む大勢の女子選手が本県へ合宿に来て下さり、老若男女問わず大興奮でした。  
**川淵** ●そうですね。なでしこジャパンとその予備軍など約80名が上富田町で合宿をさせて頂きました。佐々木監督に聞くところ、和歌山に決めた理由のひとつが梅なんです。W杯直前の合宿中に梅娘さんから和歌山特産の梅干しをたくさん頂き非常に元気づけられたと。梅は夏バテ防止や風邪予防などに良いとされ、私も子どもの頃からよく食べています。だからなでしこジャパンも梅パワーで優勝したのかなって(笑)。また、去年の台風で



W杯直前の2011年6月にキャンプ地の愛媛県松山市を訪問した紀州田辺うめ振興協議会となでしこジャパン。

相当な被害を受けられたと聞き、お見舞いという意味と感謝の気持ちを込めて和歌山で行ったんです。

**仁坂** ●本当にありがとうございます。台風被害は甚大でしたが、迅速な復旧作業により安心してお越し頂けるようになっていきます。梅については医学的な研究が進み、実際に様々な効果のあることが立証されてきたんですよ。本州最南端の和歌山は冬でも温暖。豊かな自然に美味しい食べ物、多くの温泉地とトレーニング環境には最適です。今回は特に将来ある子どもたちにとっても良い経験になったと思います。

## サッカーと和歌山のつながり

**仁坂** ●以前、W杯南アフリカ大会の必



川淵三郎(かわぶちさぶろう)

1936年大阪府高石市生まれ。古河電工サッカー部在籍中東京オリンピックに出場。日本代表監督、リーグ初代チェアマン、日本サッカー協会会長を経て現在は同名誉会長。愛称はキャプテン。



2011年女子W杯ドイツ大会決勝戦で実際に使用された試合球。(わかやまスポーツ伝承館で撮影)

## 知事対談 川淵三郎×仁坂吉伸

財団法人日本サッカー協会 和歌山県知事  
名誉会長



仁坂吉伸(にさかよしのぶ)

和歌山県知事



を持てる時代になった。だから日頃の練習態度から違う。夢が大きくなるとモチベーションが全然異なります。そこが子どもたちに与える影響は大きい。しかし日本ではまだスポーツが生活の一部として根付いていない。地域の人たちが色々なスポーツを通じてコミュニケーションを取る、一体感を共有する、それにはスポーツが一番。子どもたちが伸び伸びと遊べる、色々なスポーツを楽しめる場所づくり・指導者づくりをしてスポーツが人生を豊かにするんだという想いを子どもたちや日本人に伝えたい。それが僕の活動の全ての源なんです。

**仁坂**●そういう意味では和歌山でも是非スポーツを盛んにしたい。2015年には「紀の国わかやま国体」があるのでこれからさらに強化していこうとしています。その中で、各地にスポーツが根付き、みんなで協力しながらお客さんにもたくさん来てもらい、地域とスポーツが共に育っていくような社会を作っていきたい。だから競技会場もなるべく県下全域に散らばらせて、大会終了後終わりではなく、ずっと後々まで続く好循環ができるようにしたいと思っています。また、「和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト」では、体力・運動能力が特に優れた子どもたちを発掘・育成して、国体の競技者を輩出することを目標に取り組

# 知事対談

## 川淵三郎 × 仁坂吉伸

財団法人日本サッカー協会 和歌山県知事  
名誉会長



2010年W杯南アフリカ大会には本県海南市出身の駒野友一選手が前回ドイツ大会に続き連続出場。写真は「和歌山県スポーツ特別賞」の授与式にて。



川淵キャプテンが手にするのは2015年に開催される紀の国わかやま国体のマスコット、紀州犬の「きいちゃん」。

川淵●サッカー協会でも推奨していて和歌山でピカピカの緑のグラウンドができるんです。

### 輝くグラウンド 校庭の芝生化

**仁坂**●和歌山では小学校の校庭の芝生化を進めています。芝生を植えた後の手入れが大変なんです、それは学校だけでなく地域ぐるみでやっていて、一年ぐらいでピカピカの緑のグラウンドができるんです。

んでいて、徐々に成果も上がってきています。サッカーでは「アルテリ・ヴォ和歌山」というJリーグを目指すチームが順調に関西リーグまで昇格。子どもサッカー教室を開くなど地域とのつながりを深めていて、今後さらに期待です。

**川淵**●それは一番大事なことですね。国体をきっかけに町が発展し、県民がスポーツを通じてさらに豊かになるという遺産を残すことが大事。その良い例が2002年W杯の時に和歌山でキャンプを行ったデンマークとの友好関係ですよ。和歌山のことを絶対に忘れないと言っていると、僕は講演でその時の話をすることが多いんですが、話の最後に涙が出ちゃって。また、2010年W杯で日本とデンマークが対戦した時に和歌山ではデンマークを応援する人もいたとか。その辺が日本人の良さ、メンタリテイの素晴らしさで、相手にも伝わるんですね。

**仁坂**●ありがとうございます。子どもたちを元気に、スポーツと地域が息づくように頑張っていきたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。

**輝くグラウンド 校庭の芝生化**

芝生の校庭で遊ぶ子どもたち。芝生化することで子どもたちの運動量も増えたという。

なかつたんですが、行動しない限り日本サッカーは変わらない、だから失敗を恐れず思い切って前に進もうと。あの時失敗を恐れていたら実現しなかった。実業団サッカーの会社幹部など大半は懐疑的でしたから。でもメラメラと闘争本能が燃え上がって、「僕は会社のためにやっているんじゃない、日本サッカー界のためにやっているんだ」と啖呵を切りましてね。理論武装して相手を納得させるために海外の情報を収集して日本にマッチしたやり方を研究するなどしました。その後も色んな人たちと協力しながらやってきましたが、当時は20年でここまで根付くとは思っていませんでした。

**仁坂**●その後しばらくして景気が低迷、あの時実現していなかったら今頃日本のサッカー界は縮小していたかもしれませぬね。

**川淵**●2〜3年遅れていたら駄目だったと思います。本当に神のみぞ知るタイミングだと僕は言ってるんです。

勝祈願で日本サッカー協会の大仁副会長、田嶋専務理事と一緒に熊野三山へお参りさせてもらいました。那智勝浦町出身で日本サッカーの始祖と言われる中村覚之助さんのお墓参りもさせてもらい感慨深かったです。女子も去年のW杯から協会の方がよくお参りに来て下さってますね。

**川淵**●そうですね。中村覚之助さんが縁であの三本の鳥を日本サッカー協会の守り神のようにしたと言われていますね。僕は大阪出身ですが、子どもの頃に和歌山城と那智の滝に行った記憶があつてその頃の思い出が深いんですよ。

**仁坂**●三本の鳥は熊野三山の八咫鳥(ヤタガラス)ですね。那智の滝は日本一の落差を誇る神聖な滝でご神体そのものなんですよ。ところで、川淵さんは初代チェアマンとしてJリーグを設立されました。この時のモチベーションはどうだったんでしょうか。

**川淵**●正直、絶対成功するという確信は

なかつたんですが、行動しない限り日本サッカーは変わらない、だから失敗を恐れず思い切って前に進もうと。あの時失敗を恐れていたら実現しなかった。実業団サッカーの会社幹部など大半は懐疑的でしたから。でもメラメラと闘争本能が燃え上がって、「僕は会社のためにやっているんじゃない、日本サッカー界のためにやっているんだ」と啖呵を切りましてね。理論武装して相手を納得させるために海外の情報を収集して日本にマッチしたやり方を研究するなどしました。その後も色んな人たちと協力しながらやってきましたが、当時は20年でここまで根付くとは思っていませんでした。

**仁坂**●その後しばらくして景気が低迷、あの時実現していなかったら今頃日本のサッカー界は縮小していたかもしれませぬね。

**川淵**●2〜3年遅れていたら駄目だったと思います。本当に神のみぞ知るタイミングだと僕は言ってるんです。

### 夢のレベルが上がれば モチベーションも変わる

**仁坂**●今ではサッカー選手が子どもたちの一番やりたい職業のひとつですね。

**川淵**●今や夢は海外にまで広がっています。まさかイタリアで日本人がレギュラーで活躍するなんてとても考えられなかったですが、今では誰もがそういう夢



# 繫がる絆

那智川橋梁 「なちがわきょうりょう」

忘れられないあの日から

日常が戻ってきた。

見慣れた景色は

何物にも変えられない。

繫がる絆は今も続く

思い続ける時間と

不変に刻む鼓動のように。

那智川橋梁 [紀伊天満駅～那智駅間]  
JR西日本きのくに線(紀勢本線)はまさに紀伊半島における大動脈。  
昨年9月の台風12号により流失した橋梁の早期復旧は人々の大きな願いだっただ。12月3日の運転再開は本格復興への確かな脈動だ。



### 幸せロール

和歌山オリジナルいちご「まりひめ」やキウイをはじめ和歌山産フルーツをたっぷり使った彩りも鮮やかなロールケーキ。生石高原産の新鮮な「庭先たまご」などこだわりの素材から作った生地はとろけるような柔らかさ。

●サプール  
電話 0120-226-557



### ゆず蜜ロール

古座川の源流地域で収穫されたゆずの果汁をたっぷり生地に混ぜ込んだロールケーキ。えぐみが出ないように20%程度しか絞らない。ゆずの清々しい香りとみかんの蜜が贅沢すぎる味わい。

●アルトロシエスタ／電話 073-425-1620



### みかんのロール

表面に見える生産量全国第一位の温州みかんが特徴的なロールケーキ。使われる柑橘類は季節によって様々。ふわっふわの米粉の生地には紀州うめたまごもたっぷり。

●お菓子体験工房「バレンシア畑」  
電話 0739-35-1187



### ミキロール

生クリームの中には有田みかんのコンフィチュール。生地には湯浅醤油を隠し味に。柑橘のほどよい酸味と醤油のコクが絶妙なしっとりとした大人の味。これぞ和歌山という組合せだ。

●ル・パティシエ ミキ／電話073-471-7977



### 紀州靱漉黒豆ロール

紀の川市靱漉のがんこな農家が天日干しなどの手作業で作った黒豆をふんだんに使った絶品ロールケーキ。生地には米粉を使いふんわり柔らかな食感。まるで和菓子のような上品な味わい。

●ホテルアパローム紀の国／電話 073-436-1200



### 和歌山ロール

生クリームの中にたっぷり入っているのは生産量全国第二位の和歌山県産いちじくのコンポート。冷凍されているのでいつでも美味しく食べられる。

●一寸法師／電話 073-425-0618



### フキユメ・ラ・ロール

完熟した生の南高梅ソースがたっぷり入ったロールケーキ。米粉の生地には紀州うめたまごを使用。甘酸っぱい梅と生クリームの相性は上品で新しい味わい。

●福梅本舗／電話 0739-43-0917

### 白浜紅茶ロール

南紀白浜生まれの川添茶から生まれた紅茶を、クリームや生地にもふんだんに混ぜ込んだ香り高いふわふわのロールケーキ。中心のゼリーは香り高い爽やかなレモンティー風味。

●ホテルグランヴィア和歌山  
電話 073-425-3333(内線 617)



### 苺丸ごとロール

和歌山のオリジナルいちご「まりひめ」が丸ごと生クリームの中心に。信頼できる生産者から直接仕入れるまりひめは高設栽培で衛生的にも優れている。

●うえずとこーすと／電話 0736-22-5984

フルーツ王国、和歌山の果実は元気がいっぱい。力強い陽光に育てられた色鮮やかな果実はロールケーキとベストマッチ。

# 和歌山メイド

# MADE in WAKAYAMA



## 台風12号災害義援金について

- 被災者を支援するため、県では義援金募集口座を開設しています。
- 義援金名 和歌山県平成23年台風12号災害義援金
  - 受付期間 平成24年3月30日(金)まで
  - 口座振込 振込口座名は「和歌山県災害対策本部」

金融機関	口座番号
紀陽銀行県庁支店	普通 3 9 6 5 9 1
和歌山県信用農業協同組合連合会	普通 0 0 0 3 7 0 9
きのくに信用金庫本店	普通 2 6 1 9 5 3 3
ゆうちょ銀行和歌山店	0 0 9 2 0 - 9 - 1 1 2 5
みずほ銀行和歌山支店	普通 1 7 5 2 6 6 4
三菱東京 UFJ 銀行和歌山支店	普通 0 1 3 2 9 3 3
三井住友銀行和歌山支店	普通 7 1 2 2 2 1 1
りそな銀行和歌山支店	普通 1 1 6 5 1 1 1

- 現金受付窓口  
和歌山県会計課(073-441-3286)及び  
各振興局総務県民課(平日9:00~17:45)  
※税の軽減を受けるためには、義援金の領収書の添付など  
所定の手続きが必要となります。

〈お問い合わせ〉  
和歌山県会計課 電話/073-441-3286  
FAX/073-423-3502

## 東京で見つけた和歌山の食



師匠である日本料理の名匠・佐々木生剛氏とともに和歌山の食材に触れその素晴らしさに感動したという名地勝弘料理長。

### 和処 きてら

正統派でありながら遊び心にも溢れた和食を提供する“和処きてら”。野菜や魚介類などの食材から、醤油や味噌などの調味料まで和歌山から取り寄せる。味はもちろんランチもディナーも気取らずに食べる価格だと麻布十番のグルメもうならせる。

新鮮野菜の朝市を店頭で開始。  
(第1回は3月25日)▶

**Data ▶和処きてら**  
住所/東京都港区麻布十番3丁目6-9  
電話/03-6809-4867  
営業時間/11:30~14:30,17:30~23:00  
ラストオーダー/21:30(懐石コース)



麻布十番で味わえる  
遊び心を忘れない正統派和食

## 1隻も流されることのなかった「幸運のジェット船」のってみやんしキャンペーン実施中!

瀬峡ウォータージェット船は、昨年の台風12号による大水害にもかかわらず1隻も流されることがなかった「幸運のジェット船」。熊野交通では、通常の約15%割引運賃の「のってみやんしキャンペーン」を実施中。蘇りの地、和歌山の秘境・奥熊野“瀬峡”観光に是非お越し下さい。

■期間/平成24年3月14日(水)~8月31日(金) ■大人料金/2,840円



「のってみやんし」は地元の言葉で「乗ってみてください」という意  
<http://www.kumakou.co.jp/wjs/index2.html>

## 「稲むらの火の館」で来館者増加

1854年、紀伊半島を襲った大津波。暗闇のなか自らの稲むらに火を放ち村民を救った濱口梧陵。東日本大震災後、その偉業や精神、教訓を歴史に学ぼうとする機運が高まり、安政南海地震が発生した11月5日が「津波防災の日」に制定された。故郷の「稲むらの火の館」では来館者が前年の約2倍に急増。津波防災学習拠点として益々期待される。稲むらの火の館  
住所/和歌山県有田郡広川町広671  
電話/0737-64-1760



2007年4月に誕生した濱口梧陵記念館と津波防災教育センターから成る「稲むらの火の館」。

## 2015「紀の国わかやま国体」に向け、きいちゃん日夜奮闘中!



見かけたら「きいちゃん!」って声をかけてほしいワン!

紀州犬をモチーフにした元氣いっぱい「きいちゃん」は、和歌山を表す「紀の国」「紀伊国」と「紀州犬」の頭文字「き」ととって名付けられた。体の緑色のマークは、和歌山の頭文字Wと豊かな緑を表現。生まれ育った和歌山の自然とスポーツが大好きで、頑張る人を応援している。あっちこっち飛び回って紀の国わかやま国体のPR活動に奮闘中。



## メディア関係の皆さまへ

和歌山県では、取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

- お問い合わせ
- 和歌山県広報課  
TEL. 073-441-2032 FAX. 073-423-9500  
e-mail/nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
  - 和歌山県広報課東京branch(和歌山県東京事務所内)  
千代田区平河町2-6-3都道府県会館12階(東京メトロ 永田町駅直結)  
TEL. 03-5212-9057 FAX. 03-5212-9059  
広報専任スタッフがおりますので、お気軽にお問い合わせください。

- 観光物産
- 東京 ■わかやま喜集館  
千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階  
TEL. 03-3216-8000 FAX. 03-3216-8002  
e-mail/wtkankou@sepia.ocn.ne.jp
  - 名古屋 ■和歌山県名古屋観光センター  
名古屋市中区栄4丁目1-1 中日ビル4階  
TEL. 052-263-7273 FAX. 052-265-0327  
e-mail/wakayama758@crocus.ocn.ne.jp

和歌山県フォトライブラリー(写真貸出)  
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/photo/>  
和-nagomi- バックナンバー  
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/nagomi/>

## 和歌山応援団 求む!

「ふるさと和歌山応援寄附」を通じてサポートしてください  
和歌山県では、世界遺産や文化財の保全、2015国体開催、美しい海づくりなどに活用させていただきます。選択肢の中から活用方法の指定もできます。どうぞよろしく申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト  
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>  
※クレジットカードでも利用可能です。



2012 vol.17

企画・発行/和歌山県  
発行日/平成24年3月16日  
企画編集/サンケイ広告(株)  
制作/(有)YS'pros  
印刷/中和印刷紙器(株)

「和-nagomi-」は、大豆インキを用いて制作しています。

## プレミアム和歌山

### 老舗が考えた世界初の抹茶ソフト

一口食べた瞬間広がる清々しい味と香り。そして仄かな苦みと爽やかな後味。上質の抹茶をふんだんに使用したグリーンソフトは、安政元年創業の老舗茶店・玉林園で昭和33年に生まれた。「売上げの落ちる夏場に、何か良い商品がないかと発明好きの先代社長が開発しました。」

た。当時は抹茶入りの食品など皆無でしたから世界初の抹茶ソフトクリームだと思えます」と誇らしげに語る林和宏社長。加熱すると色が褪せる抹茶だけにこの緑色を出すのが非常に困難だったという。グリーンソフトは、和歌山県民に長く愛される世界的な味だ。



### グリーンソフト

生産者/株式会社玉林園  
和歌山市北島48-1  
電話/073-473-0456  
<http://www.gyokurin-en.co.jp>  
県内のスーパーやコンビニなどでも販売。ハードタイプ(グリーンちゃんパッケージ)は地方発送も可能。1個170円(送料別)10個から。



和歌山県優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度  
安心・安全を基本に幅広い分野で優れた県産品を“和歌山らしさ”、“和歌山ならではの”視点で推奨する。



今も石臼で作られた抹茶だけを使用。「グリーンコーナー(店舗)で提供されるソフトタイプ(写真中央)も絶品です。ステンレスのソフトクリームスタンドも懐かしいでしょ」と語る林社長。



# たま駅長の カフェ自慢

猫にゃんぱんぱん!!  
おはようございます!!



たま駅長で有名な、わかやま電鉄貴志川線の貴志駅には、地元紀の川市の新鮮フルーツを使ったジュースやジェラートが自慢の「たまカフェ」があります。今が旬のメニューをご紹介します。

## やっぱり人気ナンバーワン! いちごジュース

子どもから大人まで人気のいちごは紀の川市が県内最大の産地。美味しいのはもちろん、美容と健康に効果的なビタミンCが豊富に含まれている。いちごそのものの味が楽しめる、可愛い赤色のいちごジュース(400円)のほか、手作りいちごジャムに牛乳を加えたいちごラテ(400円)は、何だか懐かしい味のニューメニューだ。一年中味わえるジェラート(300円)も大人気。

お問い合わせは、和歌山電鉄(TEL.073-478-0110)へ。駅長たまのツイッター @ekichoTAMA たまカフェには電車でお越しください。伊太祈曽駅のパーク&ライドをご利用頂くと便利です。

## Pick up Fruits

「木成り八朔」  
知ってるかにゃ〜!!

### 木成り八朔

柑橘類の宝庫、和歌山。八朔は全国の約6割を占め生産量日本一。温州みかんに比べて大振りであり外皮は固く、甘みと酸っぱさとほろ苦さの絶妙なバランスが魅力的。通常、霜が降りないうちに収穫するが、降霜のほとんどない温暖な地域では出荷ぎりぎりまで収穫せず、木に成ったまま熟させることができる。この「木成り八朔」は大地からの栄養と和歌山の太陽の恵みをたっぷり受け、さらに芳醇な味わいに。外皮をむいた瞬間に広がる清々しい香りは柑橘好きにはたまらない。

■特産品お取り寄せサイト  
ふるさと和歌山わいわい市場 (PC) <http://www.wakayamaken.jp/>  
(携帯) <http://m.wakayamaken.jp/>



伊太祈曽駅長の  
ニタマです!!  
よろしくお願  
いしますニタマッ!!



「和-nagomi」WEB版がご覧いただけます  
和歌山県ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>  
(携帯サイト) <http://wave.pref.wakayama.lg.jp/mobile/index.php>



「エコスピ」—それは、スピリチュアルな視点から考えるエコロジー。  
「和-nagomi」は、和歌山県に息づくエコスピ・マインドにスポットをあてながら、旬の話題をお届けします。

2012年1月5日より、たま駅長の教育研修を受け伊太祈曽駅長に就任した三毛猫の「ニタマ」。日曜日はたま駅長に代わり貴志駅の駅長代行も務める(水・木は公休日)。

